

感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

●全数報告の感染症（1～5類感染症）

（今週の報告数/累積。累積は2024年第1週から）

疾患名	報告数	累積
【1類】		
（報告なし）		
【2類】		
結核	78	78
【3類】		
細菌性赤痢	2	2
腸管出血性大腸菌感染症	9	9
【4類】		
E型肝炎	6	6
つつが虫病	5	5
デング熱	4	4
日本紅斑熱	1	1
マラリア	1	1
レジオネラ症	28	28
【5類】		
アメーバ赤痢	2	2
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ¹⁾	14	14
急性脳炎 ²⁾	3	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	31	31
後天性免疫不全症候群	4	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	5
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1
侵襲性肺炎球菌感染症	31	31
水痘（入院例に限る）	2	2
梅毒	40	40
播種性クリプトコックス症	2	2
破傷風	1	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1
百日咳	3	3

1) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。2) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

2024年第1週（1月1～7日）

（国立感染症研究所感染症疫学センター）

●定点把握の5類感染症

（「定点当たり」は報告数/定点医療機関数）

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ ³⁾	61918	12.66
新型コロナウイルス感染症	34035	6.96
RSウイルス感染症	131	0.04
咽頭結膜熱	4524	1.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5377	1.73
感染性胃腸炎	8766	2.82
水痘	452	0.15
手足口病	442	0.14
伝染性紅斑	29	0.01
突発性発しん	357	0.12
ヘルパンギーナ	66	0.02
流行性耳下腺炎	43	0.01
急性出血性結膜炎	9	0.01
流行性角結膜炎	493	0.72
細菌性髄膜炎 ⁴⁾	7	0.01
無菌性髄膜炎	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	24	0.05
感染性胃腸炎（ロタウイルス） ⁵⁾	3	0.01
インフルエンザ（入院患者）	1162	—
新型コロナウイルス感染症（入院患者）	2336	—

3) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。4) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。5) 病原体がロタウイルスであるものに限る。

●定点把握の対象となる5類感染症

（前週からの定点当たりの増減と多い地域）

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	↓	宮崎、茨城、岐阜
新型コロナウイルス感染症	↑	岐阜、長野、愛知
RSウイルス感染症	↓	北海道、沖縄、福島
咽頭結膜熱	↓	北海道、鹿児島、石川
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	北海道、茨城、山口
感染性胃腸炎	↓	大分、宮崎、香川
手足口病	↓	鹿児島、奈良、山梨
伝染性紅斑	↓	福井、岡山
ヘルパンギーナ	↓	富山、鹿児島、徳島
流行性耳下腺炎	↓	鹿児島、栃木、埼玉、千葉、岡山
マイコプラズマ肺炎	↓	沖縄、福井、茨城

◆インフルエンザ

2022/23シーズンの立ち上がりは、COVID-19パンデミック前と比較して遅かったが、その後、流行が拡大し、2023年第6週に全国の定点当たり報告数が12.91となりピークを迎えた。2023/24シーズンは、23年第45、48週を除き定点当たり報告数の増加が継続し、第49週には33.72（報告数16万6690）となった。